



こんにちは

日本共産党市会議員

<議会報告>

玉本なるみ

です

連絡先：日本共産党北地区委員会

☎075 - 432 - 3261

2016年3月②号

市議会トピックス <玉本なるみ市会議員の主な質問>

◆市民の命、福祉を守れ！

生活保護 生活保護費が5億4100万円の減額予算になっていることについて、市長が生活保護が減ったことや就労指導の効果だと自慢していることは、職員に圧力になり、市民を追い詰めていると追及しました。玉本市議は実際に起こっている就労指導で追い詰められ、病気が悪化している事例を紹介し、福祉の立場を堅持すべきと追及しました。

リハビリテーション推進センター、児童福祉センター、こころの健康増進センター3施設合築問題では、合築の必要性がない点を指摘しました。取り分け、児童福祉センターは、障害への受けとめに悩んでいる保護者や虐待児童の問題など、非常にデリケートな問題を扱う施設だけに合築にするのは問題だと指摘しました。「3施設合築と跡地の売却で市財政に貢献できる」と局長は答弁しました。公立保育園の民間移管や京都市立看護短大の校舎も買ってもらい、財政に寄与しているという答弁もあり、市民の大切な財産を市民のために活用せず、目先の儲けに活用する京都市の姿勢は問題です。

保険あって介護なしになりかねない！

2017年4月から要支援1、2の方の訪問介護（ヘルパー）と通所介護（デイサービス）が介護保険の枠から外され、京都市独自の総合事業になることに対して、介護の質や量の後退があってはならないと追及しました。

大宮交通公園の改修計画を！

消防署を移転させる計画は、住民に丁寧な説明と合意が必要であること、交通公園の機能を後退させることなく、老朽化に対しての改修を求めました。

交通不便地域の対策を進め、住み続けられる街づくりを！

雲ヶ畑地域や西賀茂地域にバスを走らせ、住民の暮らしを守る立場に京都市が立つこと、特37号の便数と路線拡充を求めました。

公立高校入試において、前期選抜試験はやめるべき！

前期試験で6,456人が不合格を体験。不合格体験は子どもの成長にメリットはないと追及しました。

バイバイ原発3.11きょうとに参加しました。3月12日に円山音楽堂で開催されました。東日本大震災から5年も経ったのに、津波と原発の影響が大きく復興が進んでいません。東電と政府の責任は大きい！

しかし、脱原発の運動は決して、弱まることはありません。高浜原発の仮処分判決が出た後ということもあり、盛り上がりました。



右から2番目が玉本なるみ市議

日本共産党の代表として、弁護士の大河原としたか参議院予定候補が壇上に上がりました。

集会後は京都市役所までアピールデモ行進をしました。

つぶやき：野党共同で、戦争法廃止！参議院選挙1人区の統一候補が次々と実現。青森、宮城、長野、山梨、徳島、高知、長崎、宮崎、熊本、沖縄。衆議院北海道5区補選も実現。京都3区補選は、残念ながら民主党がかたくなに、日本共産党との共闘を拒否。しかし、日本共産党は大局に立って、自主投票を決断。20日、京都駅前街頭演説会で、志位委員長がきっぱりと話しました。大河原としたか参議院予定候補も力強く、国政を変えていく決意を語りました。岡野八代



同志社大学教授や安保法制を廃止するママの会の西郷さんなど京都から強い応援の訴えがあり、たくさんの拍手が寄せられました。



「年金増額も安心して暮らせる年金制度の実現を！『年金増額』に勝利し年金制度をよくする京都の会結成総会」
著書も発刊されました。今度読んでみようと思っています。

これ以上、年金が引き下げられれば、暮らしが保障されなくなる。憲法25条に違反しているという点で、訴訟を起し運動も進めようという取り組みが立ち上がりました。力強い弁護団も森川明弁護士を先頭に体制が取られています。そして、重要なポイントが、現年金生活者だけでなく、若い人も将来の安心できる公的年金を創るために、一緒に取り組もうと呼びかけられています。支援する会の呼びかけもありました。

準備会として開催された集会では記念講演が、下流老人の著書の藤田孝典さんのお話しでした。高齢化社会への不安の話をとってもユニークに話され、とても楽しかったです。

下流老人」の特徴は①収入が少ない。②十分な貯蓄がない。③頼れる人がいない。④⑤は限界があります。頼れる人を創るのは努力して作れるのではないのでしょうか。孤独にならず、心配してくれる人がいる。心配な人がいる。って感じる仲間作りができたらいなと思います。子どもさんは頼りになりますか？と聞かれました。ドキっとした方もあったようです。子どもも世代は変わります。子どもが大変だからです。貧困世代の監獄に閉じ込められた若者たち」という第2弾の著書も発刊されました。今度読んでみようと思っています。

年金引き下げ違憲訴訟

アンテナ



